

# 伊集院保健所感染症情報

2024年第46週（令和6年11月11日～令和6年11月17日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippe@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

## 定点把握感染症 管内警報発令中：手足口病，咽頭結膜熱

定点医療機関【インフルエンザ5，小児科3，基幹定点1】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内				県		
	開始	終息	基準値	第43週	第44週	第45週	第46週	先週からの増減	第45週	前週からの増減
インフルエンザ	30	10	10	2.40	0.60	1.60	2.80	↗	1.28	↘
COVID-19	—	—	—	0.60	0.20	0.20	1.20	↗	0.51	↘
咽頭結膜熱	3	1	—	5.00	5.00	4.00	2.00	↘	0.65	→
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	2.33	0.67	2.00	2.00	→	1.37	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	3.00	3.67	4.00	5.00	↗	2.35	↘
水痘	2	1	1	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.08	↘
手足口病	5	2	—	7.00	8.67	12.33	9.67	↘	10.49	↘
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.04	↘
突発性発しん	—	—	—	0.33	0.33	0.00	0.00	→	0.37	→
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	0.33	0.00	0.67	↗	0.45	↘
流行性耳下腺炎	6	2	3	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	↘
R S ウイルス感染症	—	—	—	0.33	0.33	0.33	0.00	↘	0.59	↗

※警報域：太文字で赤色の塗りつぶし， 注意報域：太文字で黄色の塗りつぶし

## TOPIC 感染性胃腸炎が増加しています。

伊集院保健所管内における感染性胃腸炎の報告が、4週連続で増加傾向にあります。

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの病原体による感染症です。ウイルス感染症による胃腸炎は、特に毎年秋から冬にかけて流行します。

原因となるウイルスの病原体には、ノロウイルス、ロタウイルス、その他、小球性のウイルスもあります。感染経路は、病原体が付着した手で口に触れることによる接触感染、汚染された食品を食べることによる経口感染等があります。

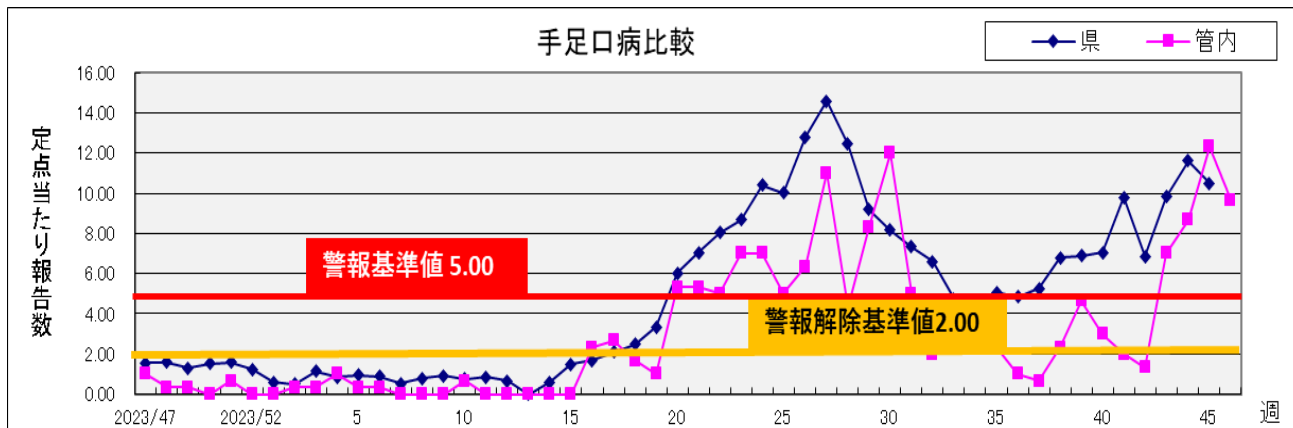
症状は、病原体により異なりますが、潜伏期が1～3日で、ノロウイルスによる胃腸炎の主な症状は、吐き気、嘔吐、下痢、発熱、腹痛で、有症期間は平均24～48時間です。ロタウイルスによる胃腸炎では、嘔吐、下痢、発熱が見られ、乳児ではけいれんを起こすこともあります。有症期間は平均5～6日で、感染しても発症しない場合や軽い風邪のような症状の場合もあります。

### 【予防のポイント】

- ロタウイルスの予防接種は、乳幼児を対象に定期予防接種（2020年10月より）が受けられます。ノロウイルスについては、予防接種はありません。
- 特に排便後や調理、食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- 便や嘔吐物を処理する時は、使い捨て手袋、マスク、エプロンを着用し、次亜塩素酸ナトリウムで処理し、処理後は石けんと流水で十分に手を洗いましょう。
- カキなどの二枚貝を調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

## ● 注意すべき感染症

### ● 手足口病（管内警報発令中！）

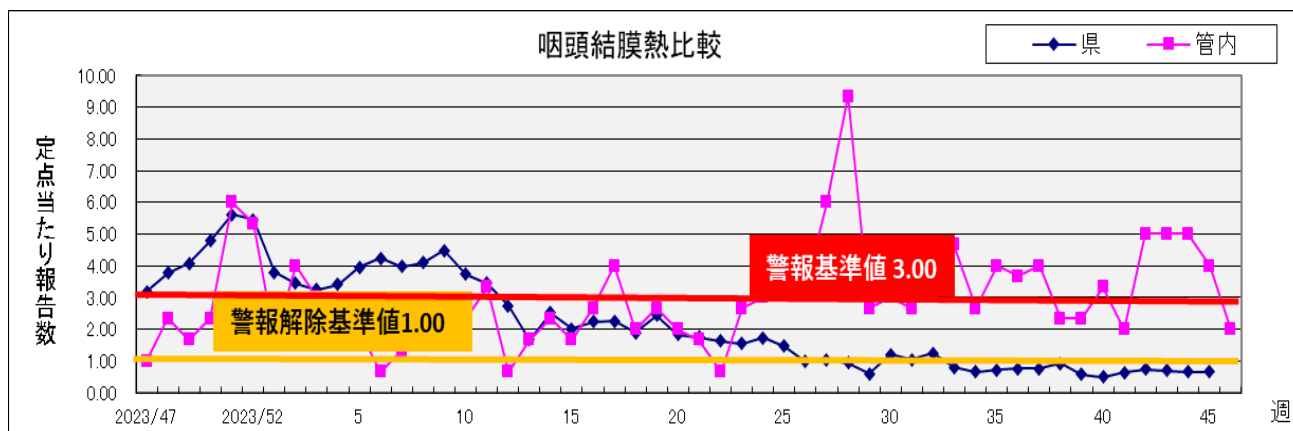


今週の伊集院保健所管内における手足口病の報告数は、前週の37人（定点当たり 12.33）から8人少ない29人（定点当たり 9.67）でした。

年齢別では、1歳（8人）、2歳・4歳（各5人）、5歳（4人）、3歳（3人）、8歳（2人）、7歳・10～14歳（各1人）の報告でした。

飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが口に入っで感染すること）が知られています。感染予防対策としては、タオルの共用はせず、手洗いをしっかりとしましょう。

### ● 咽頭結膜熱（管内警報発令中！）



今週の伊集院保健所管内における咽頭結膜熱の報告数は、前週の12人（定点当たり 4.00）より6人少ない6人（定点当たり 2.00）でした。

年齢別では、1歳・2歳（各2人）、3歳・4歳（各1人）でした。

咽頭結膜熱は、小児の急性ウイルス性感染症で、飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染で拡大します。

感染予防対策としては、タオルの共用はせず、感染者と密接な接触を避け、流水と石けんによる手洗い、うがいを励行しましょう。

### ○学校における感染症による出席停止の状況 11/11～11/17（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、インフルエンザが12人（非型別インフルエンザが4人、A型インフルエンザが8人）、溶連菌感染症が2人、マイコプラズマ感染症が3人、手足口病が1人、COVID-19が2人の報告がありました。

自治体名	疾患名	インフルエンザ	インフルエンザA型	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	手足口病	新型コロナ感染症
日置市		0	0	2	3	1	0
いちき串木野市		4	8	0	0	0	2
三島村		0	0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0	0
計		4	8	2	3	1	2